

# 社協だより

令和4年6月15日 (第142号)

発行者  
 社会福祉法人  
 高山村社会福祉協議会  
 TEL 242-1220  
 FAX 242-1222  
 印刷所  
 (株) オフセット

## デイサービスセンターで 御柱祭を開催



スタッフによる里曳き



里曳きに合わせ利用者の力結集



木遣りに合わせて手足の運動をする利用者の皆さん



御柱

### 掲載記事

- 世代間交流 さつま芋の苗植え … 2
- 花苗の配布 他 …………… 2
- 4月生まれの誕生日会 …………… 3
- ボランティア活動の紹介 他 … 3
- 社協会費納入のお願い 他 …… 4



社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で発行されています。

高杜神社で七年に一度の御柱祭が開催され、それに併せてデイサービスセンターでは、4月28日(木)と29日(金)の2日間、「デイサービスセンター御柱祭」を行いました。

午前中は、前回行われた御柱祭の記録DVDを観賞した後、午後は、割り箸で作った御幣を手に持ち、スタッフの木遣りに合わせて、手足の運動をしたり、50センチ程の御柱で里曳きを行いました。

コロナ禍で何かとレクリエーションが制限される中、スタッフ全員が感染防止策を徹底しての御柱祭でしたが、2日間とも利用された皆さんからは、「高杜神社の御柱は見えないけれど、とても楽しかった」などと笑顔で話されていました。

利用者の皆さんが帰宅する際は、割り箸に願い事を書いた赤テープ、黄テープの御幣を持ち帰っていただきます。

世代間交流

さつまいもの苗植え



5月11日(水)フラワーセンターの空きスペースの畑を利用して、子育て支援センターに通う親子7組17人の皆さんと、須高広域シルバー人材センター高山班6人の皆さんによる、世代間交流「さつまいもの苗植え」を行いました。

役員さんが、事前に堆肥や肥料を施したうえで、畝立てし、黒マルチを掛けていただいたところに、50本のさつまいもの苗を1本ずつ丁寧に植えていきました。秋には子どもたちと一緒に「さつまいもの収穫」が楽しみです。



さつまいもの苗植えを行う親子とシルバー人材センターの皆さん

花苗の配布



花いっぱい運動のスタートとなる花苗の配布

就労継続支援B型事業所で

精密部品の梱包作業を実施

心身に障がいがある方に働く場を提供する「就労継続支援B型事業所」では、4月から新たに、精密部品の梱包作業の仕事を始めました。精密部品の梱包作業は、中野プラスチック工業株から仕事をいただき、利用者と職員が仕事の方法を

工夫することで、一日に約1万個の精密部品を梱包することができるようになりました。

これからも、利用者の皆さんと地域の方々と協力しながら、よりよい就労の場を作っていきます。



梱包作業を行う利用者の皆さん

5月19日(水)フラワーセンターでは、「高山村花いっぱい運動」のスタートとなる春季の花苗(マリーゴールド・千日紅・ガゼニア等)約4,200本を用意しました。この日は、各地区のシニアクラブの皆さんや、行政区の皆さんが一緒に苗を取りに来られる日で、苗がぎっしりつまったカゴを受け取りに、次々に軽トラがやって来ました。花苗は、これからそれぞれの団体に丹精込めて育てられ、村内の各地区に花を咲かせて人々の目を楽しませてくれます。

# 4月生まれの誕生日会



誕生日を祝う利用者の皆さん

4月25日(月)デイサービスセンターでは、4月生まれの利用者さんを対象に誕生日会を開催しました。  
新型コロナウイルス感染症の蔓延前は、たくさんのボランティアさんから、日

本舞踊や歌を披露していただいていましたが、コロナ禍のためボランティアさんの活動ができない状況が続いています。

そのようなかで、4月生まれの3名の皆さん一人ひとりに、本人の顔写真入りのバースデーカードとフラワーセンターで育てた花をプレゼントしました。3名の皆さんは、バースデーカードを手にし、嬉しさのあまり涙を流す場面も見られ、喜びが伝わってきました。

ハッピーバースデーの歌を全員で歌った後、3名の皆さんから一言ずつ感謝の言葉をいただきました。  
早く、コロナ禍以前のように盛大に誕生日会が行えればと願うばかりです。

# ボランティア活動の紹介

すずらん会会長 西堀 節子さん

すずらん会は、昭和62年に保健補導員のOBを中心に発足したボランティアで、当時は特養の須坂荘や小布施荘を訪問し、入所者の入浴後の支度のお手伝いや髪の毛のドライヤーがけ、また、話相手として接したりするほか、ひざ掛けを作ってプレゼントをしたり、独り暮らしの高齢者を対象とした、配食サービス事業に参加するなどの活動も行っていました。  
コロナ禍になる前は、デイサービスセンターで入浴後の髪の毛のドライヤーがけのお手伝いや、古布(タオルやシャツなど綿素材)を介護に使用するサイズに切って、デイサービスセンターで使用してもらう活動を行っていましたが、今は、古布を切る活動のみとなっています。

現在、女性9人で活動していますが、会員を募集しています。



# ウクライナ人道危機 救護金募集のお願い

令和4年2月24日以降、ウクライナにおける紛争は各地に戦闘が拡充・激化し、人道危機は悲惨さと深刻さを増し、人道ニーズが急速に増大・拡大している状況です。また、紛争の被害を恐れ、多くの人々が、周辺国に避難しています。

この状況を受け、高山村社協では、日本赤十字社長野原支部と協力し、ウクライナからの避難民を受け入れる国々を支援するため、救護金を受け付けています。救護金は、JANAの高山支所、高山郵便局、役場並びに保健福祉総合センター(チャオル)に設置してありますので、村民の皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

## 受付期間

令和4年9月末日まで



### 各団体の総会 3年連続で中止

毎年、年度初めに行われる村内各団体（シニアクラブ連合会・遺族会・身体障害者福祉協会）の定期総会が、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3年連続で中止となりました。

### 令和4年度各団体役員

#### 高山村シニアクラブ連合会

- 会長 涌井 富生
- 副会長(会計) 牧 弘
- 副会長 山崎 勝己
- 副会長 宮前 米彦
- 女性委員 松本 和子
- 女性委員 夏目 花子
- 監事 小山 松寿
- 監事 小林 元廣

#### 高山村遺族会

- 会長 坪井林 一郎
- 副会長(会計) 渋谷 一三
- 副会長 越 昭雄
- 副会長 宮川 仁司
- 女性部長 涌井 久子
- 女性部副部長 渋谷 和枝
- 監事 宮前 米彦
- 監事 黒岩 恵子

#### 高山村身体障害者福祉協会

- 会長 小林 誠二
- 副会長 福本 健

### 社協会費納入の お願い

社会福祉協議会(以下、社協)は、社会福祉法第109条に基づき地域福祉を推進するとともに、在宅福祉サービス・介護サービス等を提供する公共性の高い非営利の民間団体です。

高山村社協では、「住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けたい」という願いを叶えるため、前述の活動に積極的に取り組んでおり、活動の財源の一部として、一世帯1,000円の「社協会費」を納入いただいています。

6月下旬に、区長さまを通じて納入通知書をお配りしますので、7月末までに納入いただきますようお願いいたします。

- 副会長(会計) 宮川百合子
- 監事 一柳 清彦
- 監事 毛利 洋子

### ご考志

ご寄付に対し、心より御礼申し上げます。

匿名希望様

毛布 1枚

### ボランティアを募集しています

ボランティア活動は、必要とされていることを、必要としてくれる人のために、自分のできる範囲で一つひとつ実践することで、困っている人に声かけしたり、少しの勇気と思いやりで、誰でもすぐにできます。ボランティア活動をするための資格はいりません。無理のない範囲で活動を始めませんか。

### 折り紙ボランティア おりづるの会

デイサービスセンターの誕生日会のバースデーカードや、独り暮らしの高齢者の皆さんへお便りを添えるなど「季節」や「やさしさ」をお届けするカードを作っていました。方を募集しています。



季節の作品を制作するおりづるの会の皆さん



アヤメのバースデーカード



洋服のバースデーカード

### 布切りボランティア すずらん会

古布(タオルやシーツなど綿素材)を切ってデイサービスセンターで使用する布を作っていた方々を募集しています。



古布を切るすずらん会の皆さん

ご連絡をお待ちしています。  
お問い合わせ先

高山村社会福祉協議会  
☎ 242-1220

本誌掲載の記事について  
のお問い合わせ・申込先は、  
高山村社会福祉協議会  
☎ 242-1220 まで